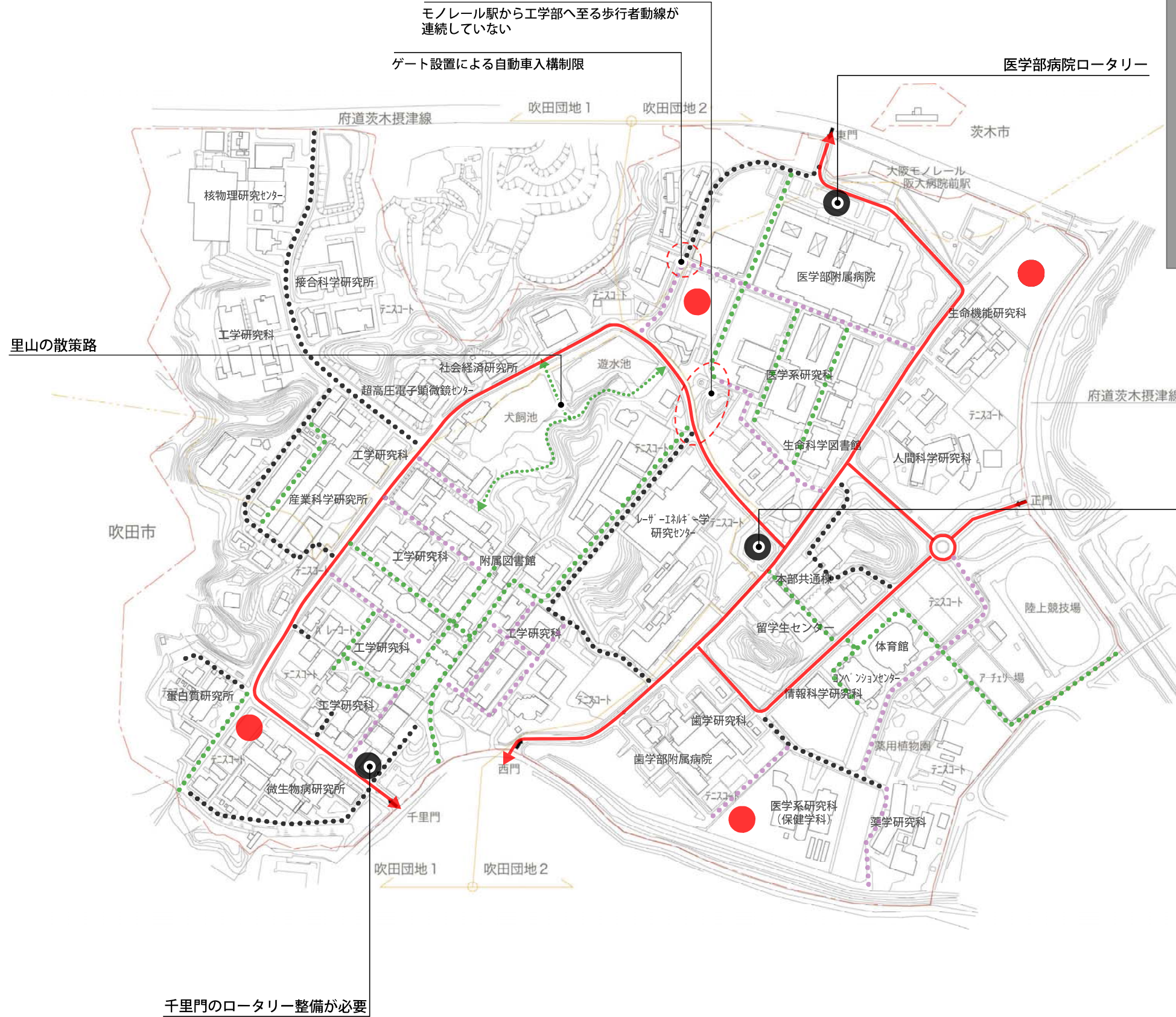


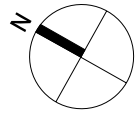
7-2. 吹田キャンパスの交通ネットワーク



- ### 計画条件
1. シンボルストリートがイメージの骨格となるよう、沿道の樹種、ペーパメント、ストリートファニチャー、沿道建物のデザインなどの面から総合的な環境整備を行い、通りの個性を化を計る。
 2. ロータリーは、本部前（バス停）、医学部病院前（車寄せ・タクシー溜まり）に加えて、千里門側（車寄せ・タクシー溜まり）にも必要である。用地としては、旧留学生センター敷地が候補にあげられる。
 3. 立体駐車場の計画は、吹田キャンパスにおける自動車通勤のあり方や必要収容台数を定めた上で、規模等を設定する必要がある。建設候補地はキャンパスの景観形成に配慮した位置に限定し、外観も周囲の環境に十分なじむようなデザインとする。
 4. 主要部局と上記交通施設（ロータリー、立体駐車場など）を、歩行者系の街路で結ぶ。街路樹、庇、ストリートファニチャー、ペーパメントの整備、バリアフリー化などにより、歩行者が快適に移動できるような配慮を行う。

凡例

- シンボルストリート
- 交通ネットワークの形成
- 歩行者系
- 融合系
- 自動車幹線系
- ロータリー
- 立体駐車場候補地



1:6000 0 50 100 200 300 400 500m